



報道関係各位

2023年2月13日
Airbnb Inc.

「オペラ座の怪人」の舞台 オペラ座・ガルニエ宮が Airbnbに登場！

主なポイント

- この度Airbnbでは、大ヒットしたミュージカル作品「オペラ座の怪人」にインスピレーションを与えたパリのオペラハウスへの宿泊が初めて可能になります。
- 「オペラ座の怪人」の世界的な成功を記念し、ガルニエ宮内の豪華な「貴賓席」での宿泊体験をお届けします。
- Airbnbのヨーロッパにおける歴史的建造物の保護活動の一環として、ガルニエ宮の伝統的な「貴賓席」が、19世紀の歴史的な素晴らしさを保つために完全に修復される予定です。



世界最大級の旅行コミュニティプラットフォームのAirbnb(本社:米国カリフォルニア州サンフランシスコ、以下:Airbnb、日本語名:エアビーアンドビー)は2023年2月13日(月)、1泊限定で、「オペラ座の怪人」の舞台となったフランス・パリのオペラ座・ガルニエ宮での特別な宿泊企画を発表いたします。

世界で最も長く上演され、最も愛されているミュージカルの一つである「オペラ座の怪人」にインスピレーションを与えた場所に、オペラ座の怪人でお馴染み「The Music of the Night」が戻ってきます。2023年にブロードウェイを含む15カ国で上演されるこの世界的な成功を記念し、ファントムの足跡をたどりながら、物語に登場する地下世界「パリのガルニエ宮」での一夜の特別な体験が予約可能となります。

今回、オペラ座で最も高級なVIP席「貴賓席」が初めて荘厳なベッドルームに生まれ変わり、ガルニエ宮の神秘と建築の素晴らしさにふさわしい特別な一夜が誕生します。また、有名な小説に登場するファントムの住む本物の地底湖を訪れるなど、この象徴的な建物のホールにどっぷり浸かることができます。

世界的に有名なファントムを生み出したフランスの小説家ガストン・ルルーの曾孫にあたり、今回のホストのヴェロニク・ルルーは、以下のようにコメントしています。

「祖父は、何百万人もの人々に愛される物語『オペラ座の怪人』の著者です。この物語を世に出したガストンを称え、彼の愛した小説の有名な舞台にファンの方をこのお部屋にお迎えします。一生に一度の滞在をお楽しみください」

Airbnb の歴史ある建物の保全に関するコミットメント

今回のガルニエ宮での特別な夜は、ヨーロッパの歴史ある建造への遺産寄付など、ヨーロッパにおける遺産観光の活性化を目指す [Airbnbの一連の施策](#) の一部です。施策の一環としてAirbnbは「ガルニエ宮貴賓席修復プロジェクト」を進行するなどオペラ座の保護と修復を、寄付活動を通して支援します。Airbnbによる寄付は、オペラ座のストリーミングプラットフォームの開発や、オーディオビジュアルコンテンツの提供にも充てられます。

宿泊について

ゲストは、ガルニエ宮最大のボックス席であり、通常は要人をもてなすために利用される「貴賓席」で一夜を過ごします。この優美な空間では、次のような一夜限りの特別な体験をお楽しみいただけます。

- 最高のロケーションでガルニエ宮とその舞台が放つ建築的な美しさを堪能
- オペラ座の貴重な非公開アーカイブや名作小説で紹介されている有名な地下湖など、めったに一般公開されることのないガルニエ宮の秘密の場所をめぐるツアー
- パリ・オペラ座バレエのバレリーナによるプライベートのバレエ入門レッスン
- シャンパンとオードブルを楽しみながら、パリ・オペラ座バレエ学校の団員による特別公演の鑑賞
- 公演前に出演者が舞台裏でウォーミングアップするために使用する、一般公開されていない歴史ある豪華なオペラ座の稽古場「Foyer de la Danse」でのディナー
- 象徴的なオペラ座ビルの軒下にあるダンススタジオのプライベートツアー

予約方法

2023年3月1日(水)午後6時(中央ヨーロッパ時間)から、下記のサイトにて宿泊予約が可能です。宿泊は2023年7月16日(日)に実施する予定です。1泊の宿泊料金は、Box of Honourの番号にちなんで、37ユーロ。さあ、夢の始まりです！

airbnb.com/opera

予約のリクエストには、予約ゲストはAirbnbのプロフィールが確認されていること、プラットフォームでの実績があること、18歳以上であることが必要です。最大宿泊人数は2名です。フランス・パリまでの交通費はお客様ご自身でご負担ください。

ミュージカル『オペラ座の怪人』について

1986年にロンドンで開幕して以来、17言語、183都市で1億4500万人以上を動員した「オペラ座の怪人」は、ウエストエンドとブロードウェイで36年以上にわたって上演されています。トニー賞7回、オリヴィエ賞4回を含む70以上の主要演劇賞を受賞しているブロードウェイ最長のロングランショーです。2022年には、アンドリュー・ロイド・ウェバーが愛するサウンドトラックを世界7カ国語で完全収録したグローバル・エディションが発売され、8枚の特別編集盤が発売されました。

『オペラ座の怪人』は2023年に15カ国、4大陸、7言語で上演される予定です。チケットの予約やお近くの「ファントム」の上演場所を確認するには、以下をご覧ください。

www.thephantomoftheopera.com

*税金と手数料が加算されます。この1泊の宿泊はコンテストではありません。

<パリ・オペラ座について>

パリ・オペラ座は350年以上にわたって生きた創造の中心地であり、ガルニエ宮とバスティーユ宮で行われるプログラムの質と多様性、そして日中も見学可能な2つの劇場のユニークな建築で知られています。オペラ座は、毎シーズン、400以上のバレエ、オペラ、コンサート公演を約90万人の観客に提供し、若い観客のためのプログラムも用意しています。これは、アーティスト(音楽家、コーラスアーティスト、ダンサー、アカデミー・ダンスアーティスト)、職人、技術者、管理スタッフなど1800人の職員の日々の仕事によるところが大きいのです。オペラ座の芸術と建築の遺産を大切にすることは、オペラ座の中心的な課題です。アレクサンダー・ネフ館長は、「私たちの団体は、並外れた遺産とノウハウを受け継いでいますが、21世紀の優先事項の1つとしてアウトリーチも行いたいと考えています」と念を押しています。

<小説「オペラ座の怪人」について>

アンドリュー・ロイド・ウェバーのミュージカル『オペラ座の怪人』は、ガストン・ルルーの『オペラ座の怪人』から着想を得て書かれた小説です。1909年9月から1910年1月まで日刊紙「Le Gaulois」に掲載され、これまでに数多くの映画化、ミュージカル化、文学化されてきました。20世紀初頭から、『オペラ座のファントム』は、物語の舞台となったガルニエ宮に対する一般の人々のイメージに強い影響を与え、今日でもこの作品は、パリの有名なモニュメントを取り巻く魅力的で神秘的な想像力を養い続けています。第二帝政時代にサル・ル・ペレティエの火災を受けながらも、ナポレオン3世時代に建設され、1875年の第三共和制の時代に完成。その建築的な豪華さ、豊かな装飾で、1910年代のブルジョワ芸術の最高峰としての象徴的存在となりました。「オペラ座の怪人」はこの劇場を舞台にしたミステリアスで幻想的な物語で、様々な不気味な出来事が展開していきます。ルニエ宮の湖と5番ボックスの地下領域に定着した作曲家で腹話術師のエリックという幽霊に起因する恐ろしい事件、1862年のダンサー、エマ・リヴリーの

チュチュの焼失、1896年の大シャンデリアの落下など、19世紀から20世紀初頭にかけてパリ・オペラ座で起きた事件に奇妙な出来事を扱う「オペラ座の怪人」は、2019年にはアーティスト、ドミニク・ゴンザレス＝フォアスターがデザインしたホログラム「[マリエンバッド・エレクトリク](#)」が公開されるなど、ガルニエ宮全体にその精神を広げ、観客の心に理性を与え続けています。

画像は[こちら](#)からダウンロードいただけます。

<Airbnb（エアビーアンドビー）について>

Airbnbのコミュニティは、2人のホストがサンフランシスコの自宅に3人のゲストを迎えた2007年に生まれ、以来、ホスト数は400万人に増え、世界中のほぼすべての国と地域にわたる都市で、10億人を超えるゲストをお迎えしてきました。Airbnbのホストは、今日もまたオリジナリティあふれる滞在とユニークな体験を提供しており、ゲストが心のつながりと居心地の良さとともに世界を体験することを可能にしています。

※「Airbnb」「エアビーアンドビー」「エアビー」の各名称およびロゴはAirbnb Inc.の登録商標です。